

## 1. 別名

## 2. 性質

気体 無色 無臭

分子量； 28.01  
 比重； 0.97(気体)  
 沸点； - 191.5  
 爆発範囲； 12.5 ~ 74% 発火温度； 609  
 溶解性； 可( 25 20ml/100g水 )  
 許容濃度； 日本50ppm  
 米国25ppm( TWA )

## 3. 危険性・有害性

可燃性・爆発性； 空気との混合ガスは、火源があれば広範囲の混合割合で容易に爆発する。

人体への影響； 血液中のヘモグロビンと結合し、体内の酸素供給能力を妨げる結果、中毒症状が現れる。その症状は頭痛、頭重、吐き気、めまい、まぶしい感じ、耳鳴り、発汗、四肢痛、全身けん怠、物忘れ等の自覚症状がある。

濃度と作用

濃度とばく露時間の積	作用
300 ppm × hr 以下	作用は認められない
600 ppm "	多少の作用が現れる(異常感)
900 ppm "	頭痛・吐き気がおこる
1200 ppm "	生命危険となる

## 4. 他の分析方法

ガスクロマトグラフ法、赤外線吸収法( NIOSH )、定電位電解法

## 5. 用途及び発生場所

メタノール合成、ホスゲン・鉄カルボニル・ニッケルカルボニルの製造、燃料ガスの主成分、コークス燃焼炉、製鉄、冶金などの火災を扱う作業、炭坑などでばく露の可能性がある。

## 6. 関係法令

安衛令(危険物)、特化則(第3類)、事務則、学保法、高圧法(可燃ガス、毒性ガス)、ビル管法、危険物船送則(高圧ガス)、IMDGコード・クラス2

## 7. 検知管の適用

